

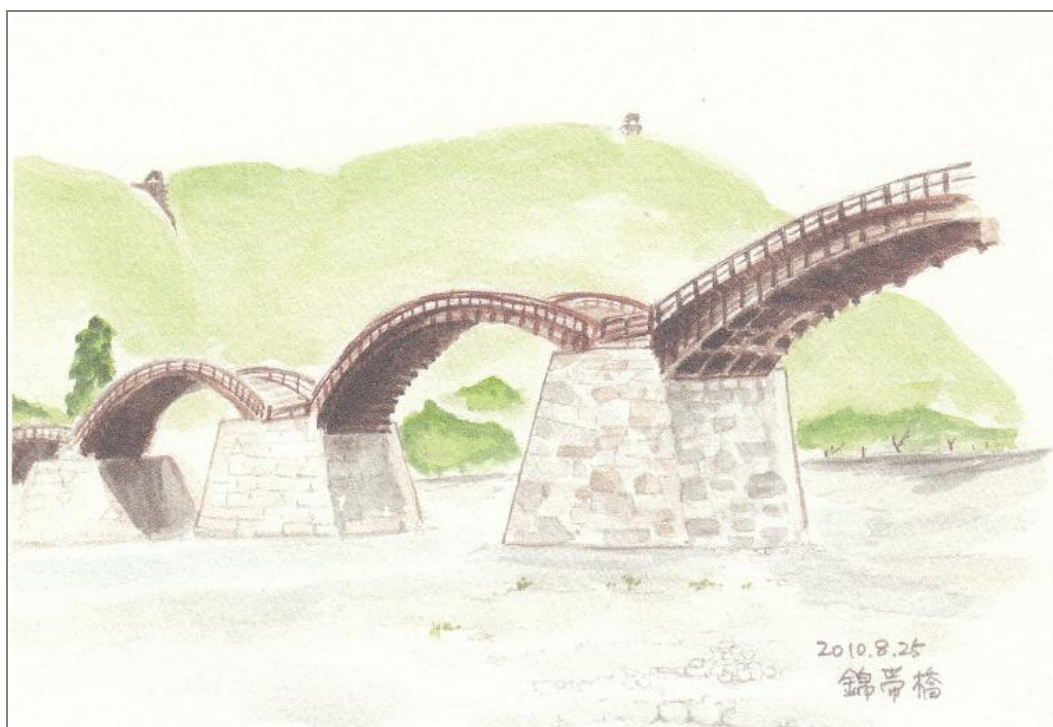
OSK KHJ岡山きびの会

平成12年9月20日第3種郵便物認可（毎月25日発行）

平成23年6月20日 OSK 増刊通巻1297号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第93号（平成23年6月）



スケッチ提供：尾形さん

「KHJ岡山きびの会へのご案内

2011年度の年会費＝6000円 各月例会の参加費：会員＝500円（4月より変更）
賛助会員＝3000円（4月より変更） 年会員以外の月例会参加者＝1000円
ご入会・ご寄付は何時でも受け付けております。年会費未納の方はお支払いください。
郵便振込先 01380-6-77803 KHJ岡山きびの会

「KHJ岡山きびの会」連絡先

〒700-0944 岡山県岡山市南区泉田5番地5 萩尾事務所内
萩尾寛江（電話・FAX 086-264-5183）

KHJ電話相談室 花谷幸芳（080-1908-3861） 不在時あり

居場所・上之町ビル4階 岡山市北区表町一丁目4-64

火・11～16時、水・11～16時、金・11～16時、土・13～18時
曜日によって担当者が変わります。連絡時間など、詳しくは最終頁をご覧ください。

「KHJ岡山きびの会」の願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが、自分の意志と選択と決定において、生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

<6月例会>

日 時 平成23年6月12日（第2日曜日） 13時 ～ 17時
場 所 ゆうあいセンター（岡山市北区南方2丁目13-1）TEL（086-231-0532）
旧国立岡山病院・きらめきプラザ2F研修室分室1
内 容 ＊山本利美先生（全国Webカウンセリング協議会カウンセラー）
＊「ひきこもり・・・制度利用までの難しさはここに。事例を交えて」
＊ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）
参加費 月例会の参加費、正会員以外 1000円

<7月例会のおしらせ>

日 時 平成23年7月10日（第2日曜日） 13時 ～ 17時
場 所 ゆうあいセンター（岡山市北区南方2丁目13-1）TEL（086-231-0532）
旧国立岡山病院・きらめきプラザ2F研修室分室1
内 容 講師：南雲千代子先生（精神保健福祉士）
演題：フリースペース夢想庵より『WRAP（ラップ）を通して「親の会」を元気に
する』
講演でなく紙に書き留める交流を主に実施します。
解説：WRAPとは？
Wellness=元気 Recovery=回復 Action=行動 Plan=計画
＊ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）
参加費 月例会の参加費、正会員以外 1000円

ご注意：8月例会は第一日曜日（8月7日）に変更になっています。ご注意ください！！

居場所担当者よりお知らせ！

* 居場所担当者会議

日時：6月17日 1時30分～4時00分 居場所担当者の会議です。

* 布草履作りに挑戦してみませんか！

実施日：6月29日 1時30分より

場所：上之町4階 岡山きびの会居場所

指導：岩田佐和子さん 電話 (090-9736-6258)

材料費：200円ご用意ください

素足にやさしく履き心地の良い布草履を作ってみませんか。

多くの方の参加をお待ちしています。

気軽に手ぶらでどうぞ！

担当者：坂本光子まで

電話：(086-421-3796)



布草履サンプル

* 親睦も含めてスケッチ旅行に出かけませんか？

実施日：未定（7月予定） 詳しくは尾形まで連絡ください。m(. .)m

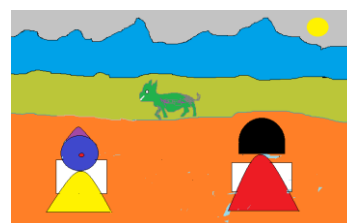
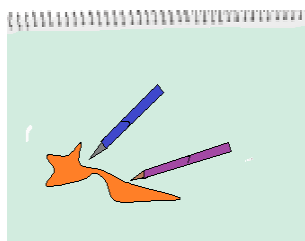
場所：未定 ご希望の場所があればお知らせください。

担当者：尾形松子まで

電話：(086-262-0938) ☀

問合せ、確認、申し込み先に関して

お気軽にどうぞ \ (^.^) /



東備支部活動案内

* 「東備・きびの会」

石橋宅で、第2金曜日（祭日は休み）、14時～17時まで集まっています。

「ひきこもり相談会」もおこなっています。相談希望者の方はお気軽にお立ち寄りください。電話相談もおこなっていますのでお気軽にどうぞ。

連絡先：石橋洋子 携帯 (090-2807-7418)

皆さんのコメント

*HY さん

引きこもり体験者二名の方のおはなしでした。
スマートで、カッコいい2名でした
体験者の方のお話は、いつも思いますが、元気をもらえます。

* 匿名希望

サポートステーション体験者のお話を聞いて、訪問支援が以前からあった事におどろきました。強く希望します。社会との接点がないので、本人も不安が多いようです。ゆがんだ過去の出来事をしつこく問いただされて母親も大変疲れます。と云って別居はしたくないといひます。医者に通院しているもののわかってもらえないと思うらしく、反発もひどく結局母親に当たられます。第三者の話し相手が出来ることを希望します。

*居場所でのプチストーリー作りの感想

居場所にてマンツーマンでプチストーリーの編み方や絵の描きかたも教わりました時間が経つのも忘れ手や口を動かしながら楽しい一時を過ごすことができ、また絵も上手になりたいという思いになりました。ずっと続けてくだされば嬉しいです。

これは、5月25日に上之町の岡山きびの会居場所にて催しの感想です。いろいろな催しを行いますので、次の機会には是非ご参加ください。b♪#♪

<KHJ岡山きびの会 役員会についての報告>

◎ 実施日 : 5月23日(月) PM1:30~4:30

①月例会の講師は、ほぼ決定しました。

②居場所活動の話合い予定

6月17日に居場所の今後の進め方や確認事項についての話合いを行います。

③参与(顧問)のお願い

カウンセリングや学習会で起きる倫理上の問題についての相談役としてお願いしました。

④会報作成の支援

5月より尾形松子が会報担当として推進しているので役員全員で協力することとなりました。

⑤「きびの会」総会日程の問題点

現状では毎年5月の第二日曜日の月例会に総会を行っていますが、他団体は4月中に県や市に書類を提出しているので足並みを揃えるために、来年度は第3日曜日に予定しました。

<その他の報告>

- ①岡山市の22年度の助成金¥199,000-が5月24日に入金になりました。
平成23年度の助成金申請をし受理されました。
- ②岡山県より平成23年度ひきこもり社会適応支援事業の委託金¥918,640-5月25日入金になりました。

総会の報告

5月8日の総会において、10年度活動報告、平成23年度活動方針(案)、平成23年度収支決算報告書、平成23年度予算(案)、会則(改正案)、が提議され承認されました。役員改選も同時に行われました。会長：萩尾寛江、副会長：中西茂明、稲本一、会計担当：花谷幸芳、居場所担当：原田光明、坂本光子、会報担当：尾形松子、東備支部担当：石橋洋子、監査：横山弘子の方々が選任されました。



< 5 月度例会の報告 >

ピアサポート 2011・5・8

サポートステーションの責任者の村本さんよりサポートステーションの概略の説明の後、話し合いがありました。

村本さん

ひきこもっていた当時のお話をしてください

竹本さん

大学3年の時、就職活動で行き詰まり、怖さを感じた。お母さんは人生につまずいたことのない人で文句ばかりを言う、その言葉に不安を感じ大声を上げたり投げやりになったり、行き詰まりを感じた。つまずいてしまった。ここには親が連絡した。5年半前のことです。

岡本さん

4年半前お母さんが連絡した

いくつかの大学は受かっていたが自分の希望大学は失敗した。予備校に行っていたがそのうち、好きなこと、サッカーなどして過ごしていた、その後、就職してみようと思い、車の会社に就職。そこでは40代50代の人と一緒に寮生活をしたが「工場は自分の夢とは違う」と岡山に帰り、すぐ働き始めようと思ったがパソコンなどして過ごす。父や母はうるさく言う。特に父が厳しかった。そうだと思うのだからできないので自分を責めた。

村本さん

もし、親が放り出していたらどうしていた？

竹本さん

死んでよいのか、親を憎む、脅す、絶対出ていけない。

岡本さん

生きていけないのか、冷静に考えると手順を踏んで考えられると思うけれど、家は出ていけない。

村本さん

出られなかったんだよね。出られない本人が悪いのか？どうなのか？

出られない人が悪いのかと以前は考えていましたが、一人で出られない人にしてしまったのは誰なのか。バブル期に就職した人は5～6月、遅い人でも夏休み前には大部分の人は決まっていた。企業も「ここで3年ぐらいは社会人研修をしてください」と言っていた。振り返ると、その時代は余裕があった。今は余裕のない時代。3日で誰の首を切ろうか言うような時代です。社会や環境も一因。振り返ると悲しい？話してください

竹本さん

自分の世界にこもって、布団の中で色々考えると泣いた。起きると忘れる。昼夜、逆転していた。

岡本さん

自分の時間を楽しんでいたが、しだいに、親との関係が悪くなり楽しくなくなった。今、遊んでいてよいのか考えた。眠れない時もあり、昼夜逆転もした。

村本さん

ここに来たきっかけは？

竹本さん

全部投げやりになり、周りが動いて自分の理想を無理とあきらめて周りにゆだねた。

岡本さん

「バイト代が出る。自分のお金を使える」と考えた。

竹本さん

出るきっかけだった。リセットしていくきっかけだった

村本さん

きっかけ、人、タイミングが合うとスイッチが入る。今は通過点だと思う。これからの自分を話してください。

竹本さん

現状では3年限定で働いています。ひきこもりを経験し、同じ世代とは遅れている。ひとり立ちがきびしい、先は心配。今は非正規、不安もあり、ゴールは遠い。何とか軌道に乗りたい。どのような仕事、どのように生きるか、ひとり暮らすか、このまま、家にいるか、決着したいが、できない自分がある。ふらふらしている。しっかりと自分の道を歩いていきたい。

岡本さん

ひきこもり、ニートの支援を。長年ひきこもっているとコミュニケーションが取れなくなる人が多い。その人たちの支援をしたい。林さん（スタッフ）に送り迎えをしてもらっていた。送り迎えをしてくれるのだから、それでよいと思っていたが、代表から「みんな、自分の足で来ている。君は送り迎えをもらっているよな」と言われ、気がつき、自分の足で行くようになった。そのようなに一つ一つ気付かせるような支援をしていきたい。色々な方に、支えられて自分がある。「自分はだめな人間」と思わないで親や周りの人がいてくれるからこそみえてくる。自分の道を決めたい。

村本さん

この二人がサポートステーションにいるからここに来たと言う人もあり、二人は大変、良くやっていると思います。

Q&A

質問・

我が家はひきこもりが、長いので、同じようにとはいかないと思うけれど、

就職のことで3日3晩、叱責して外に出られなくなった。親としてどうしたらよいか。

村本さん

長いことひきこもった人は話ができない。考えがまとまらない。声が出ない。問いかけしても、返事が帰ってこない。

竹本さん

母親と良く話していた。親と話し合い。話を引き出せるようにする。最初は話すことは難しい。

岡本さん

話すことは大切。叱責は良くない。親の気持ちはわからないでもないが、それでは声は届かない。

村本さん

第3者を入れる。自分の子どもだとできない。40代、30代が増えている。障害を抜きにして。40まで、家のルールをどうするか。社会に出て壊されるより、家で生活させて、最小限のことからさせる。自殺未遂の人もいた。ここで生活したいと言って。社会にただだけがルールではない。社会に出たことのない人だと農園体験などがよいと思う

質問・

最近、親を叱責する。どのようにしたらよいか

村本さん

最近、高校を出て大手鉄鋼会社に入社した人に会った。親が決めて、親戚もいいところと思い「辞めたい」と相談しても無理してでも行けと言われた人がいた。訪問支援に行ったところ、家族会議のようになり、父親に7つのことを要求したが「3つにしたら」と話してはなしあいになり、それから命令がなくなった。酒を飲むことをやめろ、大声はやめろ、それが3日続いたら心療内科に行くこと約束した。

竹本さん

親を怨む時期がある。ジェネレーションギャップがある、感情的にわかることがあるなど。

文責：萩尾寛江



講演風景

菅原さん推薦図書

●みんなねっと、2011年4月号

執筆者：真澄こと葉、織田信生、朝比奈ミカ、桂栄繁、藤井民子、ほか、
A5、40p、年間購読料：3500(二人以上の団体は、単価3000円)、
発行者：公益社団法人全国精神保健福祉社会連合会)

解説：この号(から)で、最も注目といえるのは、真澄による、「真澄こと葉の、つれ
つれ日記(34～35p)」です。このシリーズは、「今までの、みんなねっとの、イメージを、
変える」とも、いえそうです。この他、この号では、「がじゅまる」の、朝比奈、「東
京都・三鷹市」の、藤井、「DPI・日本会議」の、桂、の項目が、注目といえます。

●こころのサポート・2011年「夏」(通巻・第4)号

執筆者：尾木直樹、西田淳志、菅原誠、ほか、
A4変形・104p、価格800円
発行者：(株)メディカルパブリッシャー、2011年5月、
<http://www.kokoronosupport.com> TEL：03-3230-3841)

解説：この号で、最も目立つのは、尾木による、「主張・提言」と、いえます。そして、
「みんなねっとでは、おなじみの」、西日、以前、NHK(教育テレビ)の、健康番組に
出演した事のある、菅原の項目(43～45p)も、注目といえます。

なお、この雑誌は「今回の号で休刊と」なります!!。今後の事は、上記のホームページ
で、発表するとの事ですが、5月6日現在未発表です。そこで、この機会にホームペ
ージへアクセスや、ツタヤ、ジュンク堂などの書店、店頭などで探し求めて、実物や一
部の記事の全文に触れて頂ければと思います。

在庫が完売となった後は、直販の形でも復刊されることを切に願うものです。

●新聞情報

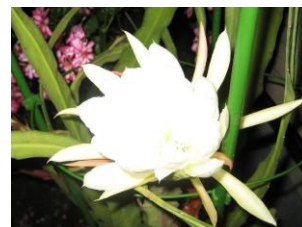
日本経済新聞

生活(医療)面 2011年4月14日 毎週・木曜日付

最前線 現場 認知行動療法の「拠点」(金吉晴、大野裕、この記事で、注目されるのは
専門人材の育成機関が始めて形となったという事です。ぜひ、多くの、「専門家・関係
者」が、この「活動に、参加」される事を、強く願うものです。

読売新聞、

くらし・教育学ぼう面 規子・ホットライン(2011年4月～)
毎週金曜日 月22,29日付松本美奈、渡辺克美、渥美形彦、こ
のシリーズの中で、「4月の、この二日間」は、「ひきこもり。
支援団体」である、「K2インターナショナル」、相談室長である渡辺が登場し、後半で
は、本人である渥美も登場している事が注目されます。



「KHJ 岡山きびの会」 6・7 月行事予定

「月例会」 以外はすべて上之町ビル 4 F にて行っています

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 居場所	4 居場所
6 月 度	5	6	7 居場所 萩尾勉強会	8 居場所 ハガキ絵教室	9	10 居場所	11 居場所
	12 月例会	13	14 居場所	15 居場所 西家族教室	16 PC 教室	17 居場所 居場所会議	18 居場所 松田相談日
	19	20	21 居場所	22 居場所	23	24 居場所	25 居場所
	26	27 役員会	28 居場所	29 居場所 布草履講習会	30	1 居場所	2 居場所
7 月 度	3	4	5 居場所 萩尾勉強会	6 居場所	7	8 居場所	9 居場所
	10 月例会	11	12 居場所	13 居場所	14	15 居場所	16 居場所 松田相談日
	17	18	19 居場所	20 居場所 西家族教室	21 PC 教室	22 居場所	23 居場所
	24	25 役員会	26 居場所	27 居場所	28	29 居場所	30 居場所
	31						

月例会： 原則第 2 日曜日、きらめきプラザ 2 F・ゆうあいセンターにて、13～17 時

役員会： 原則第 4 月曜日、役員の方以外でも、ご遠慮なくどしどしご参加ください。

西家族教室： 13:30～16:00 西紀子カウンセラー、原則毎月第 3 水曜日、会員は参加費無料

居場所： 年末年始とお盆と祝日は休み。利用料は頂いておりません。担当 原田

利用時間：火、水、金曜日は 11 時～16 時まで、土曜日は 13 時～18 時迄

担当：火曜日は、萩尾寛江カウンセラー(086-264-5183) 17 時過ぎてご連絡ください。

水曜日、金曜日は各担当者の輪番制

土曜日は花谷当番、相談には山本利美カウンセラーが居ます。

松田相談日： 松田勝カウンセラー、原則第 3 土曜日、9～18 時、定員 8 名、

予約先・中西：TEL090-9500-9618&086-955-2857 金額：会員は 1 時間 3000 円

萩尾勉強会： 萩尾寛江先生選択理論勉強会、原則第 1 火曜日、14～16 時、

問い合わせ先・原田(0869-22-1711)、参加料 500 円

PC (パソコン) 教室 原則第 3 木曜日、月一回、13:30～16:00、ワードとエクセルを中

心にして練習します。詳細は花谷(080-1908-3861)まで。原田講師が丁寧に対応します。

今後の月例会の予定、7 月、9 月、10 月(第 2 日曜日)の月例会の場所も「ゆうあいセンター」予約済み。 **注：8 月は第一日曜日です**

平成 12 年 9 月 20 日第 3 種郵便物認可 (毎月 25 日発行) 平成 23 年 6 月 20 日発行 OSK 増刊通巻 1297 号
発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山市浦安西町 74-9 脇 妙子 (TEL086-263-7537)

(定価 100 円は会費に含まれています)